

# 親子聖書日課

NO.1858 2024.5/5-11

名前

[日]ヨブはどんなにひどい仕打ちを受けても、神を信じ続けましたが、神の前における自分の義に頼りました。誠実な人間が陥りやすい点です。死に至るまで自分の潔白を主張するのではなく、罪深いことを認めて、神により頼む人は幸いです。

[月]人間の知恵は隠れたものを探し出そうとします。しかし、知恵そのものは金銀鉱物を掘り出すようには得られません。「知恵はどこから来るのか」その答えは、主の内に隠されています。主を畏れ敬って、主に求めるなら、知恵は与えられます。

[火]「昔はよかった」という人がいます。ヨブも苦難の中で「昔は神に守られてよかった」と言いました。しかし、神に守られているのは昔だけではありません。今も変わらずに守られ、救いの道が開かれています。「今こそ一番よい人生！」です。

[水]電話をかけても、直ぐに相手が出るとは限りません。話中だったり、留守中だったりします。神との通話も直ぐに返事がこないことがあります。その時は、諦めないでかけ続けることです。神は真剣に求める者には、必ず答えてくださいます。

[木]ヨブは身の潔白を証してきたほど、誠実な生き方をしていました。しかし、絶対に潔白かという、「いいえ」です。彼には、神に自分の義を認めさせようとする傲慢な罪がありました。「義人は一人もいない」のですから、神の義を誇りましょう。

[金]ヨブは自分の力の及ぶ限り、善を行ったことを神に示しました。自分の行いを誇ることはよくないですが、彼のように善を行うことは大切です。特に、人をもてなす姿は倣いたいものです。いと小さき者にしたことは、主にしたことになります。

[土]博学な人が神について語っても、神の霊に満たされなければ、人は救われません。その反対に、無学な人でも神の霊に満たされるなら、救われる人が起こされます。「悟りを与えるのは全能者の息吹」ですから、神の霊の満たしを求めましょう。



	聖書	問題	答え
日	ヨブ記 27:1-23	ヨブは死に至るまで何を主張しましたか。	
月	28:1-28	主をどうすること、それが知恵ですか。	
火	29:1-25	神との何が私の家に入り、私は繁栄の日々を送っていましたか。	
水	30:1-31	あなたは私をどこの国へ連れ戻そうとなさいますか。	
木	31:1-23	神は私の歩みをすべてどうしておられますか。	
金	31:24-40	わが家の扉はいつも旅人にどうしていますか。	
土	32:1-22	悟りを与えるのは、全能者の何ですか。	

感想と祈りの課題